

会計・固定資産システム変更内容

- バージョンアップを実行する前に以下をご確認ください。
- 現在のPS7予算システムのバージョンが「7.33.2023.0220」以上であること
- バージョンアップ後は、「7.33.2023.0831」となっていることをご確認ください。

分類	No.	機能名	内容
インボイス対応			
予算	1	出金伝票入力 予算執行Upload (入金伝票入力)	<p>支払先が免税事業者の場合、伝票日付・科目・支払先の組み合わせにより、科目入力時・支払先入力時、経過措置の消費税パターンに自動変換するように修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年10月1日～2026年9月30日・・・80%経過措置 ・2026年10月1日～2029年9月30日・・・50%経過措置 ・2029年10月1日～・・・課税対象外 <p>※仕訳入力前に、支払先マスタの適格請求書事業者区分および登録番号を設定してください。</p> <p>※以下のケースでは、自動では経過措置の消費税パターンに変換されません。</p> <p>消費税パターンを直接変更するか、支払先の再設定処理をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既に対象期間の伝票を起票されている場合 ・過去伝票を複写した場合 ・定型仕訳を使用して仕訳を入力した場合 <p>※消費税パターンはTOMAS標準で準備しているコードに対しての変換になるため 学校様が独自で追加されている消費税パターンがある場合は自動変換の対象外になります。</p> <p>※立替払は教職員への支払いになるため、実際の支払先業者に応じて、手動で消費税パターンを適切なものに修正してください。</p>
電子帳簿保存法対応			
予算	2	出金伝票入力 入金伝票入力 振替伝票入力 旅費申請入力 仮払申請入力 旅費精算入力	<p>ファイル添付機能オプションをご利用いただいている場合（FULL版含む） 会計システムの情報に合わせ、以下の情報が登録できるように拡張しました。 予算管理システムから電子取引の履歴を作成する場合は、会計側システム変更の「14. 電子取引フォルダ登録」にて設定の変更をお願いします。（予算管理システムから電子取引管理を行うか：予算管理システムから）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイル ・名称 ・取引年月日 ・取引金額 ・取引先（支払先） ・備考
会計	3	一括発注取込	会計側への電子取引情報の連動を行うように修正しました。
その他の不具合／改善対応			
予算	4	全般	<p>明細の部門部署毎の制限解除を可能としました。 これに伴い、起票部署として使用しない目的の部門設定が不要となり、オペレータへの起票部署設定が不要となります。</p> <p>システムパラメータ：「部門部署組み合わせ権限を明細部署に適用するか」 初期値：有効</p> <p>パラメータ変更にあたっての詳細・注意事項を末尾に追加しておりますのでご確認ください。</p>
	5	予算申請書	予算申請書を補正で印字すると、合計行の見出しが【合計】ではなく【増減】と表示される問題に対応しました。
	6	予算関連Upload	アップロードするファイル内に数式が入っている場合に正常にエラーメッセージを表示するように改善しました。
	7	予算査定検索	予算査定検索で合計金額が左詰めにしている為、右詰めにしました。
	8	予算超過入力・検索	超過入力にて年度を変更できるように対応しました。
	9	伝票入力全般	出納方法マスタをこれまで常に翌年度を参照していましたが、各々の年度を参照するように改善しました。
	10	出金伝票入力	一度入金明細ありで登録したのちに、入金をチェックを全て外して再度登録すると、該当伝票を開くとシステムエラーで開けなくなる問題に対応しました。
	11	振替伝票入力	オペレータIDが10文字以上の場合に伝票承認や更新でエラーとなる問題に対応しました。
	12	承認一覧入力	一覧の並び順（起票部署）が、数字順で並ばない問題に対応しました。

会計・固定資産システム変更内容

予算	13	予算管理簿 予算管理簿照会	予算管理簿、予算管理簿照会にて対象の伝票番号が支払予定仕訳の場合に伝票番号に※が付くようになりました。 また、予算管理簿では伝票番号を表示するように対応しました。
	14	伝票状態照会	条件保存にて年度も保存されてしまう問題に対応しました。
	15	伝票状態照会 (CSV出力)	CSV出力の際に、伝票状態を限定すると画面と異なるデータが出力される問題に対応しました。
	16		CSV出力時に起案者を出力している欄の見出しが、起票者であったため起案者に変更しました。
	17	執行伺伝票発行	執行伺伝票発行にて振替伝票（資金振替）の借方が印字されない問題に対応しました。
	18		振替伝票の固有レイアウトで摘要行に同じデータが2回出力される問題に対応しました。
	19	仮払申請書	汎用レイアウトの作成が可能となりました。 レイアウトの修正が必要な場合は、お問合せください。
	20	旅費申請書 旅費精算書	汎用レイアウトの作成が可能となりました。 レイアウトの修正が必要な場合は、お問合せください。
	21	科研費収支簿出力	経理担当者の表示順が画面上とは逆に出力される問題に対応しました。
会計	22	起票部署登録	オペレータに権限グループで登録している部門が表示されない問題に対応しました。
	23	目的予算マスタ登録	目的Ⅱの略名称を変更してもPS7予算の名称が変更されない問題に対応しました。
	24	オペレータ登録 (起票部署設定)	起票部署登録画面で有効のチェックを外したものは、表示されないように改善しました。
	25	一括発注取込	一括発注取込の取消機能ができるように改善しました。 取込ボタンにて纏めて取り込みを実施した処理が対象となります。
	26	予算コントロールマスタ登録	予算コントロールマスタに部署のみで設定できるように対応しました。 No4にて、明細の部門部署制限を解除している場合は、部署のみで設定してください。
	27	承認グループ権限マスタ登録	管理者などの一部オペレータがオペレータガイダンスに表示されるように改善しました。
	28	承認グループ権限マスタ登録 (権限複写)	権限複写で翌年度の更新確認されないため、確認と更新されるように改善しました。
	29	次年度予算作成処理 役職登録	部署コードに文字が含まれるとエラーになる問題に対応しました。
	30	目的科研課題マスタ	課題名称へ貼り付けができるように改善しました。

※PS7予算のマニュアルを最新化しております。

ユーザーサイトの【マニュアル資料ダウンロード】からご確認ください。

PS7予算システム変更内容に対する補足説明

不明点ありましたら弊社までお問合せください。

No4. 目的予算権限の参照方法追加に関するご案内

起票目的 I（起票部署）と、明細の目的 I（部署） が別の権限参照が可能となります。

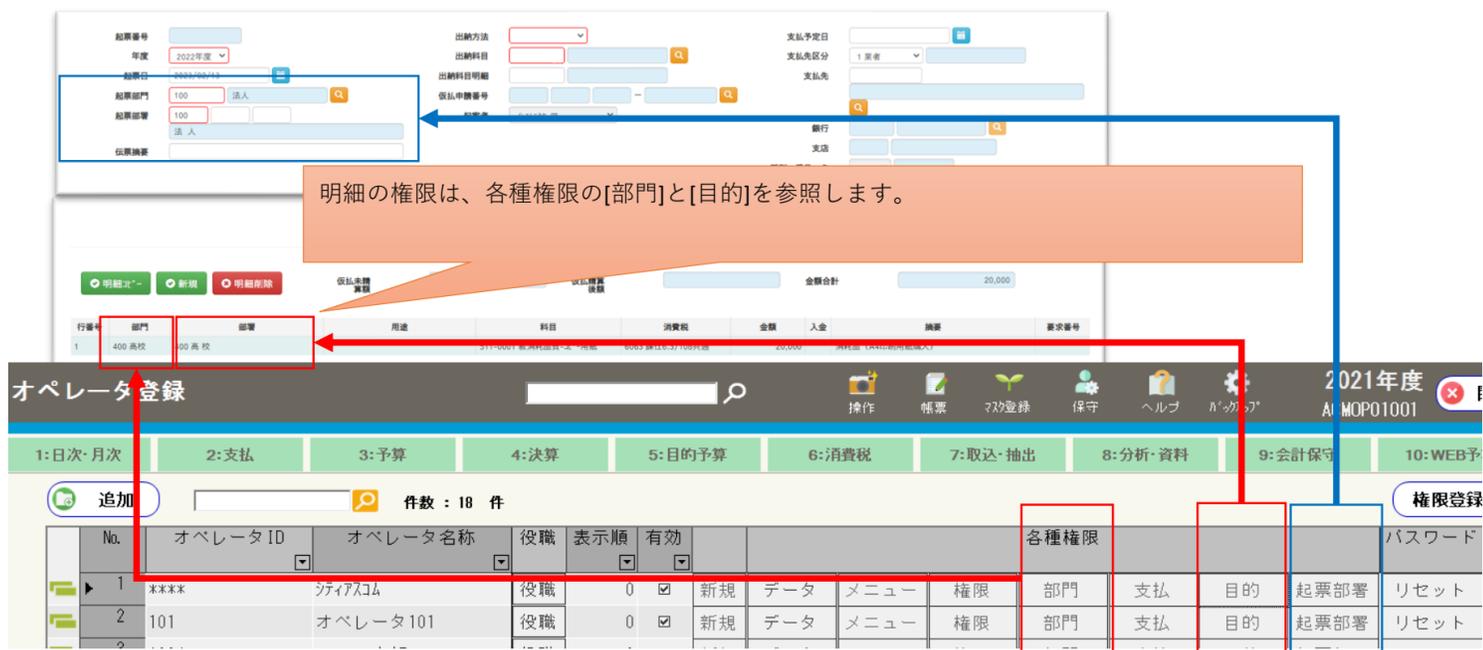
※バージョンアップ後に追加されるシステムパラメータを変更しない限り影響はありません※

システムパラメータ名：「部門部署組み合わせ権限を明細部署に適用するか」 初期値：する

○パラメータを変更しない場合、今まで通りの動作となります。



○パラメータを変更した場合（明細の部門部署権限を適用しないに変更した場合）



★パラメータを無効へ変更した場合の影響は下記の通りです。

- メリット：1. 明細でしか使用しない目的 I（部署）に対し、部門部署の設定が不要となる
 2. オペレータに対しての権限設定が簡易化される（指定階層以下全て可能になる）
 3. 起票部署として入力して欲しくない部署の制御が可能となる

- デメリット：1. 明細入力時に、部門部署の組み合わせでの入力制御ができなくなる
 2. パラメータ切り替え時の確認作業や、設定変更が発生
 3. 過年度の各種権限が不足している場合に伝票が参照できなくなる

※出金伝票入力においては、自身が作成した伝票の閲覧は権限に関わらず可能

変更手順：パラメータを変更した瞬間に権限が適用されますので、無効へ変更する場合は下記の流れで実施してください。

手順① システムパラメータ変更前に、各オペレータの部門権限・目的権限に誤りが無いか確認 ※必要に応じ過去も含めご確認

手順② システムパラメータの変更を実施する



手順③ 予算コントロールマスタ登録にて、「部門毎に設定しない」のチェックを入れて更新する

手順④ (任意) 起票部署マスタ登録にて、不要な部門部署の削除を実施する

役職で使用している起票部署権限を削除した場合は、従来通りログインできなくなりますのでご注意ください。

削除の際に、実際に起票部署で使用されている部門を削除すると伝票作成者本人以外で参照できなくなります。

ご不明点や事前の確認等ありましたら弊社までお問合せください。